

「東京外語会有志による海外支部歴訪の旅」第16回シドニー外語会訪問に参加して

投稿日時: [2015年6月22日](#) 投稿者: [admin](#)



今回の歴訪の旅は、1995年の第1回ツアー(台湾支部訪問)から数えて20年目に当たる節目の旅でした。今回は16回目の海外支部訪問となり、5/20～25の日程で、総勢17名をもって、舞台を南半球に移し、オーストラリアのシドニーとケアンズ、それに、オプションでエアーズロック(ウルル)を訪れました。

シドニーでは、シドニー外語会と交歓会を行いました。シドニー外語会の特色は、東京外語・大阪外語・神戸市外語の3外大の卒業生が一体となった組織であることであり、1982年発足以来30年余りの活動を行っているということです。

現地からは、シドニー外語会会長の中尾尚子さん(タイ語、1980、トヨタモーター勤務)のほか、幹事の河原一夫さん(大阪デンマーク語、1992、オキデータ・オーストラリア勤務)、青木清久さん(イタリア語、1957、元住友商事勤務)ら11名が参加されました。今回、初めてシドニー以外からの参加があり、キャンベラから、メルボルンからもかけつけてくれました。その意味で、今回、全豪外語会が実現したわけで、中尾会長さんも感慨

ひとしおのものがあつたようです。我々、訪問団も、来た甲斐があつたとの思いを強くいたしました。

我々のツアーは、シドニーのほか、シドニー近郊のブルーマウンテンや、ケアンズ・グレートバリアリーフを訪れ、オプションで数名がエアーズロックを訪れました。

広大なオーストラリア大陸の魅力とシドニー外語会との感激的な交歓会など、詳細は以下でご覧いただけます。

①シドニー旅行記1 5月21日から23日(ケアンズ)まで

【5月22日(金)部分から抜粋】

シドニー外語会との交歓会「シドニー外語会との交歓会」は、「ラディソンホテル」で、午後7時から開催され、当方17名、シドニー外語会11名、計28名が参加した。シドニー外語会の特色は、東京外語・大阪外語・神戸市外語の3外大の卒業生が一体となった組織であることであり、1982年発足以来30年余りの活動を行ってきているという。現地からは、シドニー外語会会長の中尾尚子さん(タイ語、1980、トヨタモーター勤務)のほか、幹事の河原一夫さん(大阪デンマーク語、1992、オキデータ・オーストラリア勤務)、青木清久さん(イタリア語、1957、元住友商事勤務)らが参加した。今回、初めてシドニー以外からの参加があり、キャンベラからのLangtry, Johnさん(日本語、1979、オーストラリア外務貿易省勤務)、メルボルンからの藤岡直樹さん(英米語、1987、トヨタモーター勤務)には敬意を表したい。また、Langtryさんと同じく、東京外語に留学していたGiles-Jones, Patrickさんにも参加していただき、流暢な日本語で、日本での思い出や日本との絆について熱っぽく語っていたのが印象的だった。河原さんの司会・進行で進められ、シドニー外語会会長の中尾尚子さんの歓迎のご挨拶で宴は始まった。冒頭、東京外語会理事長・長谷川康司氏及び東京外国語大学学長・立石博高氏からのメッセージの披露があつた(添付資料参照)。東京外語会-シドニー外語会交歓会シドニー外語会会長の中尾尚子さんからは、「この交歓会には、遠くは、メルボルン、キャンベラからも出席して下さった方もおり、予てから懸案であつた、全豪外語会が実現いたしました。そう言った意味でもお礼申し上げます。オーストラリア側一同、大変良い刺激を受け、元留学生を含め、次回の外語会にも是非出席したいと、意欲が増した様です。」とのご挨拶があり、我々、訪問団も、来た甲斐があつたとの思いを強くした。また、シドニー側の四家さん(D、1992、三井住友銀行勤務)や藤岡さん(前出)から、「オーストラリアは、物価は高いが住み易い。南半球なので、太陽は東から出て北に回って南に沈む、南風が吹くと寒く、北風になると暖かい」といった日本人には面食らうお話しも伺えた。最後に、オーストラリアの伝統文化の紹介があり、アボリジニの長い笛の演奏が行われて、9時閉会の予定が10時前にやっとお開きとなった。シドニー外語会側の、今回交歓会に対するご尽力とお心遣いに心から感謝申し上げます。オーストラリア伝統文化の披露(シドニー外語会、中央は中尾尚子会長)この日、シドニーでは、「ビビッド・オーストラリア」と称するキャンペーンが行われていた。レーザー光

線によるアトラクティブな映像によって、オペラハウス やビルの壁が、まさに、ビビッドに彩られていたという。実は、この時間、我々は、シドニー外語会との「交歓会」を行っていて見ることはできなかった。後日、テレビでこの状況を知り、見られなくて、ちょっと残念と思ったことだった。

②シドニー旅行記2 5月23日(エアーズロック)から25日まで

内容省略

③メッセージ From 長谷川東京外語会理事長、及び 立石東京外国語大学学長

(添付資料 -- 1)

平成27年5月吉日

シドニー外語会の皆様へ

東京外語会理事長 長谷川康司

シドニー外語会の皆様に於かれましては益々お元気の事と存じます。さて、この度東京外語会有志による海外支部歴訪の旅で、シドニーを訪問し、貴会との交歓会を開催される機会に、皆様へのメッセージを託してご挨拶申し上げます。シドニー外語会は1982年12月に創立され30年以上の歴史と伝統があり、現在会長の中尾さん、幹事の河原さんのお世話役を中心に総員26名で懇親を深め多方面にわたってご活躍されておられる事は理事長として嬉しく誇りに思います。シドニー外語会の特徴は、三外国語大学OB(東京、旧大阪、神戸)が一体となって運営されている点にあり、東京外語会の海外支部の中でも特色のある存在として我々も関心を寄せております。私は会報133号(2月発行)で国内外の支部活動の重要性を述べました。つまり支部間のネットワークを強化し会員の皆様に『役に立つ面倒見の良い、外語会』を目指す事を目標の一つに挙げています。ご承知のように、東京外語会理事会の中には「支部委員会」が設置されており、海外各支部との連携に力を注いでおります。支部の設立・運営にはそれぞれの背景が有ると思いますが、本部も支部との連携を深めて協力・支援を實踐致します。それぞれに接点が増えればやがて面となり、お互いが理解し発展が期待できます。文科省、一部の大学は若者の留学を推進しており、母校に於いても学生、保護者、大学は留学に積極的に取り組んでおり、その視点からも海外支部の活動に関心が高まっています。昨年の6月に、母校を含む7つの外国語大学が一丸となって、世界に貢献し得る人材の育成を目指す「全国外大連合」が結成されました。その活動が活発になり、大学間の交流が盛んになれば、東京外語会も将来はシドニー外語会の様に他の外国語大学OB会と協調して運営する支部が増えてくると思います。又日本に留学に来ている留学生も帰国したら支部に支部員として入会したい声も出ています。現に留学経験者が帰国し支部の中心になっている所もあります。まさに外国語大学ならではのグローバル化した支部となり、OB会、大学、学生にとっても有

益な交流、情報ステーションとなり今後グローバル化のシナジー効果が期待されます。従来、国公立大学は卒業生との関係にさほど関心を示していませんでしたが（一部私大を除いて）、最近の新聞紙上では、卒業生のキャリアは大学にとって大切な資源であると認識し、OB会との連携が重要であるとの報道が目立ちます。昨年9月文科省がスーパー・グローバル・ユニバーシティ（SGU）37校の国公立大を選定し（東京外国語大学も選定された）大学の国際競争力を高めるため一定期間国から大学へ財政支援されますが、期間毎に評価されます。評定結果が重要となりますので選ばれた大学は競って国際化を推進しています。東京外語大の場合はこの4月から四学期制を導入し、学生に留学し易い環境を整え、在学中に2回留学するよう指導し学生を教育・育成しています。以前より海外からも公費・私費の留学生を受け入れ、また、協定している外国の大学とGlobal Japan Office「日本研究・日本語教育の拠点となる」オフィスを現在5か所開設しグローバル化を展開しています。今後10年間で38 officeを開設する計画です。その際は現地で活躍しておられる皆様からのサポートが重要になってくると思いますので宜しくお願い致します。当会を含め国立大学OB会の多くは財政的に余裕の無い状況と思いますが、在学生や卒業生の若い世代、又シニア会員にも思いを致し『面倒見の良い外語会＝OB会』を目指すべく努力致します。日本からの留学生、若き駐在員は海外の先輩から色々なお話を聞かせて頂ければ、彼らの将来に必ずやプラスになることは言うまでもありません。最後になりましたが、シドニー外語会の皆様方のご健勝と益々のご発展を祈念し、簡単ながらご挨拶とさせていただきます。日本に帰国の際は是非とも本郷、或いは当会の府中事務所“外語会プラザ”をご訪問下さい。以上

（添付資料 -- 2）

2015年5月15日

シドニー外語会 会長 中尾尚子様・皆様

東京外国語大学 学長 立石博高 ご挨拶

「第16回東京外語会有志による海外支部歴訪の旅」一行がこの度御会と交歓会を開催されると伺い東京外国語大学の学長として一言ご挨拶申し上げます。私は東京外大のスペイン語科を1976年（昭和51年）に卒業いたしました。そして2013年4月に学長に就任し2年余り経過したところです。学長就任後間もない2013年（平成25年）9月に行われた「第15回トルコ支部訪問」の際にも、学長として支部の皆様へ母校の様子を伝えるメッセージを訪問団に託しましたので、今回もシドニーでご活躍の皆様方に母校の現状を3点ほどに絞ってお伝えしたいと思います。先ず第1点ですが、シドニー外語会は大阪、神戸、そして東京の3外大の同窓生で構成されていると聞いております。東京外語会の海外支部は現在50余りあると伺っており、その中で大阪外大の咲耶会の皆様とは数カ所の支部で合同で運営されていることは承知していますが、御会が神戸外

大を含めた3外大の同窓で運営されておられることは初めて知りました。素晴らしいこと
と思います。皆様すでにご承知かも知れませんが本学は2014年6月に「全国外大連
合」を結成いたしました。全国7つの外国語大学が加盟しています。五十音順に申しま
すと、関西外国語大、神田外語大、京都外国語大、神戸市外国語大、東京外国語大、長崎
外国語大、名古屋外国語大の7外国語大学です。その基本理念は「世界諸地域の言語と文
化・社会に関する専門学術を教授研究し、国際社会の一員として世界に貢献しうる人材を
育成すること」にあります。今後7大学はこの基本理念の下で別途設けた目標の実現のため
に「学生、教員・職員及び研究者の交流」を図り、「各大学の教育研究の水準を一層向
上させる」べく連携して参ります。次に第2点です。本学は昨年文部科学省から「スー
パーグローバル大学創生支援」事業校に選定され、タイプBの日本の国際的競争力向上に
貢献する「グローバル化牽引型」24校の一つになることができました。本学の構想は、
「《世界から日本へ、日本から世界へ》——人と知の循環を支える ネットワーク中核大
学——」としており、具体的な活動の一つに世界各地の協定大学に Global Japan Office
を設置し日本の発信力、国際的プレゼンスの向上に寄与することを目的としています。
この海外の Global Japan Office の活動を展開するに当たっては、世界各地で活躍する本
学のOB・OGの方々のご支援とご協力が不可欠です。具体的なことは順次「東京外語会
会報」などでお伝えしますのでどうぞよろしくお願いいたします。ちなみに御地オースト
ラリア関係では未だ残念ながら Global Japan Office を設置するまでには至っておりませ
ん。目下は下記の2大学とそれぞれ学生交流協定を締結している段階ですが今後出来る
だけ早い機会に上記 Office を設置したいと希望しております。①オーストラリア国立大
学（2001年4月27日）②メルボルン大学（2012年1月13日）そして第3点
です。本学は今から8年後の2023年に建学150周年を迎えます。東京外国語学校が
設置された1873年（明治6年）を建学の年としています。これを記念して更なる発
展を期する為10年間で10億円を目標とする「建学150周年記念基金」を設けており
ます。御地の皆様におかれましても本趣旨にご理解を賜りご協力の程どうぞよろしくお願
い申し上げます。最後に一つ私の方からお願いがあります。本日の交歓会のことを含めて
シドニー外語会の活躍の様子や、支部から後輩の学生諸君に向けた期待等（在学中にこん
な勉強をしておくの良い等のアドバイス等）を是非本学学生諸君に伝えたいので学長室
宛てに寄稿して頂きたいと希望しております。以上を持ちまして簡単ではありますが私
のご挨拶とさせていただきます。交歓会のご盛会をお祈りすると共に皆様のご活躍を念じます。
以上

投稿者： 林 義之 フランス語 1966年卒業

東京外語会ホームページ会員便りから